

エコアクション21

環境活動レポート

2010年度

(対象期間：2010年10月1日～2011年9月30日)



富士レジン工業株式会社

発行日：2011年12月1日

< 環境方針 >

環境保全活動を重要課題として位置づけ、社会的責任を果たすべく、これまでの環境事業で培った技術と経験を生かし、人と暮らしに安全と安心を提供する企業を目指す。

1. 「人と地球にやさしい材料」の設計・研究開発を新しい観点から見直し環境・安全・品質を考慮した製品づくり、省エネ・省資源、グリーン調達、節水および化学物質使用量削減に努める。
2. 関連する環境汚染防止、環境法規制・基準およびその他の要求事項を遵守する。
3. 環境活動レポートを作成し、情報を共有する。全従業員の意識向上などの啓発と環境コミュニケーションに取り組み、周知する。

2011年10月5日改訂
富士レジン工業株式会社
代表取締役 松本興二



石炭火力発電所 排煙脱硫装置内面 フジフレークライニング

< 事業概要 >

事業所名：富士レジン工業株式会社 本社・工場

代表者：代表取締役 松本 興二

所在地：〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江3丁目1番17号

資本金：3億円

創業：昭和26年11月1日

創立：昭和28年4月20日

事業内容： 合成樹脂ライニングの施工

強化プラスチック（FRP）製機器の設計、製作および販売

合成樹脂ライニング材料の設計、製造および販売

事業規模

活動規模		単位	57期 08/10～09/9	58期 09/10～10/9	59期 10/10～11/9
売上高		百万円	3,413	3,131	3,031
従業員	登録範囲	人	-	72	86
	全社		104	104	104
床面積		m ²	3,493	本社：3,493 富士工場：1,719	本社：3,493 富士工場：1,719

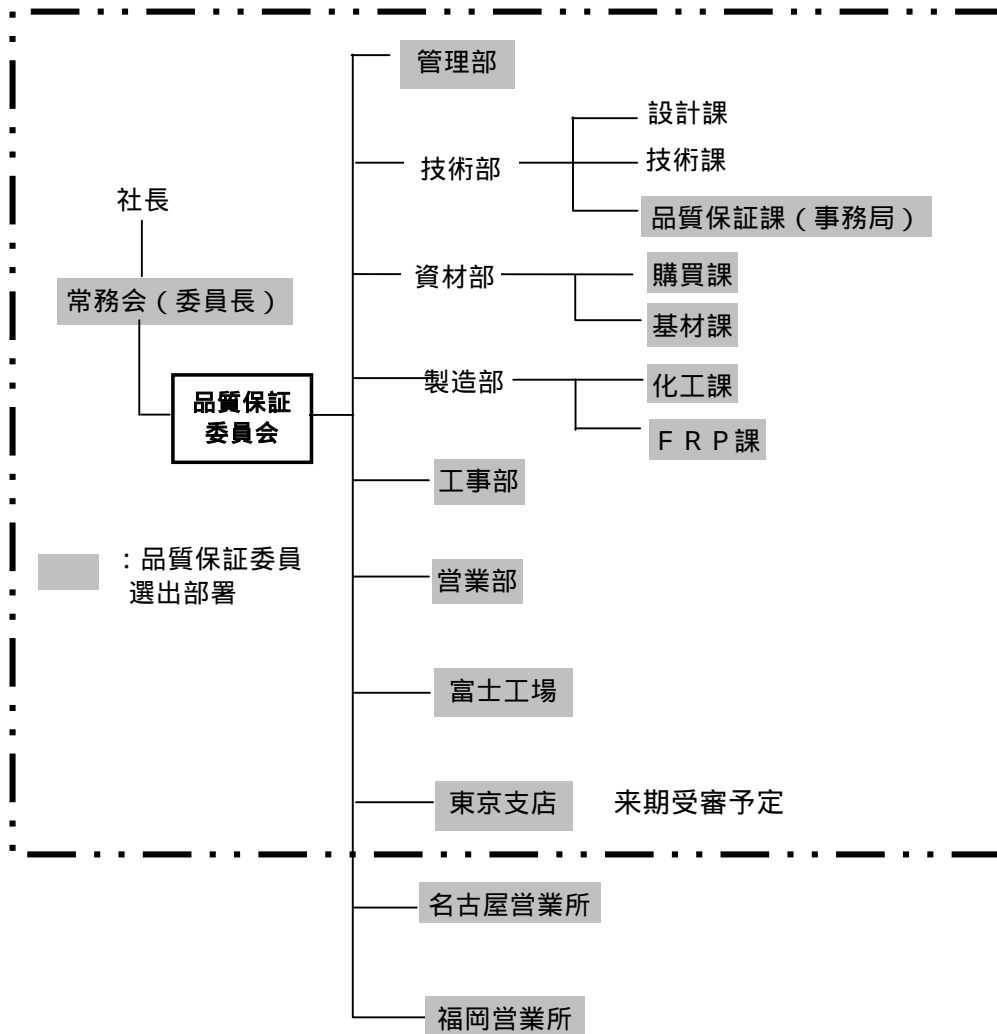
< 環境対応体制 >

下図の品質保証委員会（環境活動を兼務）を組織し、環境計画の策定および環境活動進捗状況の把握、評価を行っている。

環境管理責任者：取締役 大阪工場長 和田哲也
 環境担当部署：品質保証課 部長代理 隠岐 拓
 連絡先：電話 06 - 6499 - 0303
 FAX 06 - 6498 - 4032

2011年10月13現在、E A 2 1 認証・登録範囲は [] 内。

今後の拡大申請予定：1年後の更新審査 「東京支店」
 2年後の中間審査 「名古屋営業所」
 3年後の更新審査 「福岡営業所」



< 中長期 環境目標（本社・工場 および 富士工場） >

- 1) 温室効果ガス排出量
二酸化炭素排出量を3年で5%削減する。
- 2) 廃棄物等総排出量および廃棄物最終処分量を3年で15%削減する。
- 3) 総排水量
水資源投入量を3年で15%削減する。
- 4) 化学物質排出量
アセトン、トルエン、MEK（メチルエチルケトン）、IPA（イソプロピルアルコール）を
トータルで3年で15%削減する。
- 5) 省エネ・省資源・再利用・安全を考慮した製品づくりを推進する。
- 6) グリーン購入を推進する。

< 2010年度 環境目標（本社・工場 および 富士工場） >

- 1) 温室効果ガス排出量 二酸化炭素排出量 1.5%削減（前年比、以下同じ）
電力消費量の節減
都市ガス・ガソリン消費量の節減
- 2) 廃棄物等総排出量および廃棄物最終処分量 5%削減
白上質紙（コピー用紙）消費量の節減
廃棄物の削減
- 3) 総排水量 水資源投入量 5%削減
節水
- 4) 化学物質排出量 5%削減
アセトンその他有機溶剤の節減
- 5) #103シンナーのトルエンフリー化

< 2009年度環境活動計画(本社・工場および富士工場) >

1. 本社・工場

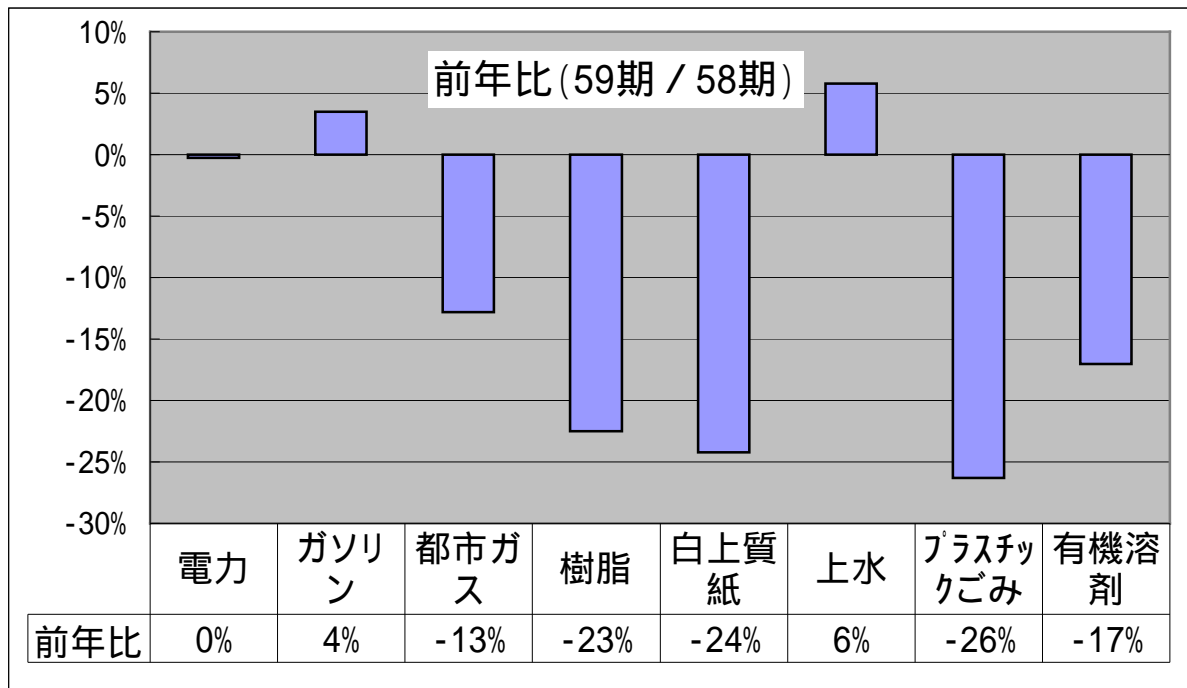
目 標	目標達成手段 (取組の自己チェックで挙げた内容を記載する)	責任部門 責任者 (敬称略)	スケジュール											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
電力の削減 基準年度実績 2009年 394 MWh 149 kg-CO ₂ 使用する二酸化炭素排出係数: 0.378 2010年度目標 基準年度比 95% 削減率 -5% 目標値 141 kg-CO ₂	<ul style="list-style-type: none"> 事務室、工場等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にする 夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る 空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)を徹底する 使用していない部屋の空調は停止する ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節する 夏季における軽装(クールビズ)、冬季における重ね着等服薬の工夫(ウォームビズ)をして、冷暖房の使用を抑える 	管理部 林田	33	30	33	33	39	31	32	23	22	35	41	42
			12	11	12	12	15	12	12	9	8	13	15	16
			12	24	36	49	64	75	87	96	104	118	133	149
			12	11	12	12	14	11	11	8	8	13	15	15
			12	23	34	46	60	71	83	91	99	112	126	141
2011年度目標 134 90%			30	24	29	34	48	36	35	23	25	35	36	38
2012年度目標 127 85%			11	9	11	13	18	14	13	9	10	13	14	14
			11	20	31	44	62	76	89	98	107	121	134	149
			○	○	○	△	×	×	×	×	×	×	×	△
温室効果ガス、化学物質の削減		工場長 和田												
基準年度実績 2009年 15 kL 軽油 0 kL 33,785 kg-CO ₂	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質排出移動量届出制度(PRTR制度)にもとづく取組を行う 都市ガス、灯油等の環境負荷の少ない燃料を優先的に購入、使用する 	和田	991	1,329	1,649	1,162	1,598	646	1,701	1,482	1,091	811	805	1,289
2010年度目標 95% 削減率 -5% 目標値 32,096 kg-CO ₂			2,300	3,085	3,828	2,697	3,709	1,499	3,949	3,441	2,533	1,882	1,869	2,993
	<ul style="list-style-type: none"> ばい煙等の監視及び判定やばい煙処理設備の点検を定期的に行う等、適正に管理する エコドライブ*等運転方法の配慮(急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐車中のエンジン停止等)を励行する タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正值(メーカー指定の空気圧)を保つように努める 		2,300	5,385	9,213	11,910	15,619	17,118	21,067	24,508	27,041	28,923	30,792	33,785
			2,185	2,931	3,636	2,563	3,524	1,424	3,752	3,269	2,406	1,788	1,776	2,843
			2,185	5,116	8,752	11,314	14,838	16,262	20,014	23,283	25,689	27,477	29,253	32,096
			1,101	1,470	1,078	1,583	1,078	912	1,448	1,449	1,073	1,164	1,502	0
2011年度目標 30,407 90%			2,557	3,413	2,503	3,674	2,503	2,118	3,361	3,365	2,491	2,701	3,488	0
2012年度目標 28,718 85%			2,557	5,970	8,473	12,147	14,650	16,768	20,129	23,494	25,985	28,687	32,174	32,174
			×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	△

日 標	目標達成手段 (取組の自己チェックで挙げた内容を記載する)	責任部門 責任者 (敬称略)	スケジュール																		
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月							
白上質紙消費量の削減 基準年度実績 2009年 540 kg 2010年度目標 基準年度比 95% 削減率 -5% 日標値 513 kg 2011年度目標 486 90% 2012年度目標 459 85%	<ul style="list-style-type: none"> 会議用資料や事務手続書類の簡素化に取り組み 社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組む 打合せや会議の資料等については、ホワイトボードやプロジェクターの利用により、ペーパーレス化に取り組む 印刷物を作成する場合は、その削減が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないよう配慮する 画面、集約等の機能を活用した印刷及びびーを徹底する 使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫する 使用済み封筒を再利用する コピー機は、枚数や紙大・縮小の誤り等のミスを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットする シコレットターの使用を機密文書等に限る、シコレットター処理紙の)サイクルに努める 	管理部 林田	基準年	kg	0	86	48	80	80	80	60	40	40	86	20	0	0				
			(累計)	0	86	134	214	294	354	394	434	520	540	540	540	540	540	540			
			日標 (月別)	0	82	46	76	76	57	38	38	82	19	0	0	0	0	0			
			(累計)	0	82	127	203	279	336	374	412	494	513	513	513	513	513	513			
			今期実績(月別)	0	86	48	80	80	60	40	40	86	20	0	0	0	0	0			
			(累計)	0	86	134	214	294	354	394	434	520	540	540	540	540	540	540			
			評 価		○	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	△	△		
			産業廃棄物の削減 基準年度実績 2009年 215 トン 2010年度目標 95% 基準年度比 95% 削減率 -5% 日標値 204 トン 2011年度目標 193 90% 2012年度目標 183 85%	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う 廃棄物の最終処分先を定期的に、直接、確認する 廃液の回収・再利用のための設備を設置し、活用する 	資材部 竹村	基準年	トン	17	22	18	18	31	22	17	14	13	13	17	12	12	
						(累計)	17	39	57	75	106	128	145	159	173	186	203	215	215	215	215
						日標 (月別)	16	21	17	17	30	21	16	13	13	12	16	11	11	11	11
(累計)	16	37				54	71	101	122	138	151	164	176	193	204	204	204	204			
今期実績(月別)	9	#REF!																			
(累計)	9	#REF!																			
評 価		○				#REF!															
水道水の削減 基準年度実績 2009年 3,030 m ³ 2010年度目標 95% 基準年度比 95% 削減率 5% 日標値 2,879 m ³ 2011年度目標 2,727 90% 2012年度目標 2,576 85%	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する 水道配管からの漏水を定期的に点検する 	資材部 竹村				基準年	m ³	0	511	0	544	0	494	0	384	0	461	0	636	636	
						(累計)	0	511	511	1,055	1,549	1,549	1,933	2,394	2,394	2,394	2,394	2,394	2,394	2,394	2,394
						日標 (月別)	0	485	0	517	0	469	0	365	0	438	0	604	0	604	604
			(累計)	0	485	485	1,002	1,472	1,472	1,836	1,836	2,274	2,274	2,274	2,274	2,274	2,274	2,274			
			今期実績(月別)	0	543	0	567	0	582	0	461	0	490	0	0	0	0	0			
			(累計)	0	543	543	1,110	1,110	1,692	1,692	2,153	2,153	2,153	2,153	2,153	2,153	2,153	2,153			
			評 価		○	x	△	x	△	x	△	x	△	x	△	x	△	△	△		

< 環境活動の実績 >

1. 本社・工場

項目	単位	57期	58期	59期
購入電力	kWh	421,050	394,487	393,462
ガソリン	L	12,551	14,552	15,063
都市ガス	Nm ³	30,782	28,057	24,467
樹脂	トン	730	682	528
白上質紙		0.66	1.01	0.77
プラスチックごみ		292	215	158
上水	m ³	4,778	3,030	3,205
有機溶剤	トン	30,490	32,475	30,105



2. 富士工場

項目		目標	実績			評価	次年度の取組内容
			57期	58期	59期		
二酸化炭素排出量	電力 (kWh)	5%削減 (前年比)	93,245 (-33%)	125,998 (+35%)	124,456 (-1.2%)	仕事の量にまだ影響を受けている。	冷房28、窓にブラインド
	ガス (m3)		524.5 (-24%)	642.3 (+22%)	665.8 (+1%)	寒い冬場のため、ストーブのガスが増加した。	窓、壁の断熱
	ガソリン + 灯油 + 軽油		9,232	9,360.3 (1%)	10,424.4 (1%)	工場外工事量の増加とともに、微量増	エコ運転
廃棄物の排出量	コピー用紙 (枚)		56,966 (-9%)	59,367 (+4%)	60,906 (+2.5%)	仕事の量にまだ影響を受けている	裏表の使用
	廃棄物 (T)		42 (-11%)	37 (-12%)	30 (-20%)	努力の成果と評価できる	リサイクルを検討
総排水量	水資源 (m3)		1,156 (-4%)	1,092 (-6%)	1,290 (+18%)	水張り検査の有無によって変動	工程の工夫
化学物質排出量	アセトン (kg)	4,070 (-12%)	4,320 (+6%)	4,704 (+9%)	仕事の影響を受けている。	回収量を増やす	
	#103シンナー (kg)	2,355 (-26%)	3,315 (+41%)	3,392 (+2%)	58期は若干増えている。	新103シンナーに転換	

注：グリーン調達は2011年度より取り組む。

< 環境活動計画の取組結果とその評価および次年度の取組内容 >

1. 本社・工場

1. 二酸化炭素排出量

電力消費量は東日本大震災後の電力会社からの節電要請を受けたこと、および電力モニター設置による電気使用量の見える化により各部署での積極的な削減努力に取り組んだが、結局±0%というであった。来期は、ハード面からのアプローチ（エコ照明器具やインバーター式コンプレッサーなどの導入）に取り組むこととする。

都市ガス消費量は - 13%もの削減を達成できた。これは加熱商品の減少だけでなく、食堂や休憩室でのきめ細かい削減効果によると考えられる。今後も引き続きこれらに取り組むこととする。

一方、ガソリン消費量は4%の増加であった。今後はこれまでより一層のエコ運転必要性の広報および教育の強化に努めることとする。

2. 廃棄物等総排出量および廃棄物最終処分量

白上質紙消費量は24%もの削減となった。原因としては全従業員への就業規則配付などにより前期が通常以上の消費量であったことに加え、今期は節減活動が徹底されたことによると考えられる。今期は書類の電子化を一層進めることとする。

プラスチックごみは前期に引き続いて30%近い削減となった。一斗缶のリサイクル化および溶剤回収装置の導入による硬化樹脂が減ったことによると考えられる。シールドメイライフ-の大きなクレームによる返却もなかったことも幸いした。今後は溶剤回収装置の更なる有効利用を進めることとする。

3. 上水使用量

前年比マイナス6%の削減にとどまった。前期が予想以上に削減されたので今期はその反動で節減努力が小さく見えただけと考えられるので、今後もこれまで通りの節水活動とする。

4. 化学物質排出量

有機溶剤の購入量は17%の削減となった。これは各職場の節減努力と溶剤回収装置導入による洗浄用有機溶剤リサイクル化の効果と考えられる。

来期は、省エネ・省資源を考慮した製品作りおよびグリーン調達に力を入れたいと考える。

注：富士工場の「取組結果とその評価および次年度の取組内容」は前頁「環境活動の実績」表内に記載。

< 環境関連法規の遵守 >

当社（本社・工場、富士工場）に関わる下記の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反行為は過去5年間ありませんでした。また、行政機関からの指導および利害関係者からの苦情・訴訟も過去5年間ありませんでした。

- 1．地球温暖化・エネルギー・オゾン層保護
 - 1) 地球温暖化対策の推進に関する法律
 - 2) 特定製品に係わるフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律
(フロン類回収破壊法)
- 2．公害
 - 1) 大気汚染防止法
 - 2) 振動規制法
 - 3) 騒音規制法
 - 4) 悪臭防止法
 - 5) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法 (自動車NOx・PM法)
- 3．リサイクル・廃棄物
 - 1) 環境基本法
 - 2) 循環型社会形成推進基本法
 - 3) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)
- 4．化学物質
 - 1) 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
(PRTR法)
 - 2) 毒物及び劇物取締
 - 3) 労働安全衛生法
- 5．その他
 - 1) 消防法
 - 2) 環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律
(環境保全活動・環境教育推進法)

< 代表者による全体評価と見直し >

作成：2011年11月10日

インプット情報	有無	分析結果
環境への取組みの自己チェックデータ	有 無	年々改善傾向にあり成果が見られた。
環境への負荷の状況(取りまとめ表)	有 無	成果にばらつきが見られ検討の要あり。
環境情報発生報告書	有 無	近隣からの苦情はなかった。
法規制等の遵守状況チェック結果表	有 無	違法行為はなかった。
是正・予防処置報告書	有 無	
全体評価と見直し	要否	改善指示内容
環境方針	要 否	“グリーン調達”、“環境配慮型”商品開発を追加すること
環境目標と活動計画	要 否	資材(購買課)は、“グリーン調達” 技術部は“環境配慮型商品開発” を積極的に推進すること。
その他	要 否	富士工場 危険物倉庫 各種指定数量を表示(視覚的わかり易) 床には範囲、壁には高さなど 限度ラインを引き表示。

会社概要

社 名 富士レジン工業株式会社 (FUJI RESIN CO., LTD.)

資 本 金 3億円

役員氏名 社長 松本興二

創 業 昭和26年11月1日

創 立 昭和28年4月20日

事業内容 合成樹脂ライニングの施工
強化プラスチック (FRP) 製機器の設計、製作および販売
合成樹脂ライニング材料の設計、製造および販売

所在地 本社・工場

〒661-0976 尼崎市潮江3丁目1番17号
大阪 (06) 6499-0301 FAX (06) 6497-0821



エコアクション21
認証・登録番号 0005939

東京支店

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 1 番 8 号 (日本橋大伝馬フラザビル 4 階)
東京 (03) 3663-4300 FAX (03) 3663-4304

富士工場

〒419-0202 富士市久沢 楠164-4
富士 (0545) 71-4143 FAX (0545) 71-0558

名古屋営業所

〒465-0013 名古屋市名東区社口1丁目913番
名古屋 (052) 771-3866 FAX (052) 776-7056

福岡営業所

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目1番10号 (天神シルバービル)
福岡 (092) 781-6858 FAX (092) 781-7871

関連会社 CRM(株) (名古屋営業所内) NKフレーク販売施工
フジライナーテック (本社工場内) 光硬化FRP製造